

問1 建物に火災報知設備が設置されている一番の目的は何ですか。

1. 火事の発生を早く知らせて、安全に逃げやすくするため  
2. 火を燃え広がらせないため  
3. 消火活動を自動で行うため  
4. 建物の防犯を強化するため

問2 警察は、事件が起きてから動くだけでなく、事件を未然に防ぐための活動も大切にしています。学校で子供たちに対して行われる、犯罪から身を守るための練習を何といますか。

1. 注意喚起  
2. パトロール  
3. 交通安全教室  
4. 防犯訓練

問3 道路のわきや上に取りつけられている、絵や文字を使って、ルールや危険を伝えるための板（看板）のような目印を何といますか。

1. 交通ルール  
2. 信号機  
3. 安全パトロール  
4. 道路標識

問4 作成した「安全マップ」を完成させたあと、地域全体の防犯のために最も大切なことは何ですか。

1. マップを自分だけの宝物として大切にしまうこと  
2. マップの情報をみんなで話し合い、知らせ合うこと  
3. マップを学校の校庭のすみっこに埋めること  
4. マップを一度作ったら、もう内容を変えないこと

問5 道路を直す作業をしていて、いつもよりあぶない場所であることを運転する人に知らせる標識はどれですか。

1. 工事中  
2. 横断禁止  
3. 止まれ  
4. 横断歩道

問6 消防団が火災や地震などの災害時に行う、大切な役割として正しいものはどれですか？

1. 新しい消防車を作るための工場働く  
2. 消火活動や救助活動を行い、地域の人を守る  
3. 火災の原因を調べるための裁判を行う  
4. 火事が起きないように、消防署をすべて管理する

問7 交番の警察官が、地域の人から相談されたときに行う仕事として、正しいものはどれですか。

1. 個人の家のお手伝い  
2. スーパーの特売品の値段調べ  
3. お店の商品の宣伝  
4. 道に迷った人の案内

問8 多くの地域では、もしもの火災にそなえて「防火水そう」が設置されています。どうして、ただの水道管だけでなく防火水そうが必要なのでしょう。

1. 水道の水をそのまま使うと、消防車のポンプが壊れてしまうから  
2. 消防車が水を補給する場所を町中にたくさん作るため  
3. 防火水そうのほうが、水道の水よりも火を消す力が強いから  
4. 水道管が壊れて水が出なくなったときでも、消火活動を続けるため

問9 警察官が、お年寄りの家などを直接たずねて、犯罪や事故にあわないように気をつけることを伝える活動を何といますか。

1. 防犯訓練  
2. パトロール  
3. 交通安全運動  
4. 巡回連絡（じゅんかいれんらく）

問10 街で拾った財布を届け出たとき、交番の警察官が行う対応として適切なものはどれですか。

1. 持ち主の代わりに買い物へ行く  
2. 落とした人の住所を教える  
3. 拾った人の名前や住所などの手続きをする  
4. その場で財布の中身を分ける

問11 大きな火災が起きて、一つの消防署だけでは足りない場合、消防署はどのような工夫をしますか。

1. 近所の消防署と協力して活動する  
2. 市役所を新しく建てる  
3. 警察に消火をお願いする  
4. 火が消えるまで待つ

問12 建物の中で、火事が起きたことを音や光を使って周りの人に知らせるための設備を何といますか。

1. 非常口  
2. 避難はしご  
3. 消火器  
4. 火災報知設備

問13 「こども110番の家」のような場所が、地域の防犯において大切な理由として、最も正しいものはどれですか。

1. 緊急時に逃げ込める避難場所となるため  
2. 大人たちが子どもを監視するため  
3. 子どもがおこづかいをもらうため  
4. 地域の家をすべてお店にするため

問14 火災が起きたとき、消防車が消火活動に使う水を「水道管」から取り出すための設備を何といますか。

1. 避難はしご  
2. スプリンクラー  
3. 防火水そう  
4. 消火栓

問15 火災が起きたときに、消火器を使って行う「初期消火」について、正しい説明はどれですか。

1. 火が建物全体に広がってから使う  
2. 大きな火災でも必ず消し止められる  
3. 自分の家には置かなくてもよい  
4. 消防士が来るのを待たずに使う

問16 家が火事になったり、急に具合が悪くなって救急車を呼びたいときは、何番に電話をかければよいでしょうか。

1. 104番  
2. 110番  
3. 118番  
4. 119番

問17 どうして110番や119番のような特別な電話番号が決められているのでしょうか。その理由として最も正しいものはどれですか。

1. 誰でも簡単に、急いで警察や消防署に助けを求めるため  
2. まちの電話番号を少なくするため  
3. 電話番号を覚える練習をするため  
4. 電話会社が売り上げを増やすため

## 答え合わせ・解説 No.2

問1	<b>答え 1</b> 火事の発生を早く知らせて、安全に逃げやすくするため	火災報知設備は、火事を見つけたときや煙を感じたときに、周囲の人に素早く危険を伝える役割を持っています。いち早く知らせることで、みんなが早く避難したり、初期消火に取り組んだりできるようになり、被害を最小限に抑えることができます。
問2	<b>答え 4</b> 防犯訓練	学校などの場所で、実際に危険なことが起きたときどのように行動すればよいかを確認する活動を指します。警察官が学校を訪れて指導することもあり、子供たちが犯罪から自分の身を守る力をつけるために行われています。
問3	<b>答え 4</b> 道路標識	道路標識は、道路のわきや上に取りつけられた板（看板）で、車を運転する人や歩いている人に、その場所での決まりや、先に危険があることを知らせて安全を守るためのものです。これらを正しく理解して守ることが、事故を防ぐためにとても大切です。
問4	<b>答え 2</b> マップの情報をみんなで話し合い、知らせ合うこと	安全マップは作成して終わりではありません。情報をみんなで共有し、地域の人たちと「ここはあぶないかもしれない」「ここは安全だね」と話し合うことで、みんなの防犯意識が高まり、より安全なまちづくりにつながります。
問5	<b>答え 1</b> 工事中	「工事中」の標識がある場所は、道路を直す作業をしていて、いつもよりあぶない状態です。この標識を見ることで、運転する人はスピードを落としたり、周りをよく見て注意して進んだりすることができます。
問6	<b>答え 2</b> 消火活動や救助活動を行い、地域の人を守る	消防団は、消防署と協力して消火活動や救助活動、警戒活動などを行います。地域のことをよく知っている住民たちが協力し合うことで、災害から地域を守る大きな役割を担っています。
問7	<b>答え 4</b> 道に迷った人の案内	交番の警察官は、道案内や落とし物の届け出の受付など、地域の人々が安全で安心してくらするように手助けをするのが役割です。お店の値段調べや個人の家事などは、公共の安全とは関係がないため、警察の仕事ではありません。
問8	<b>答え 4</b> 水道管が壊れて水が出なくなったときでも、消火活動を続けるため	大きな地震などで水道管が壊れてしまうと、蛇口から水が出なくなることがあります。また、火災が大きくなると大量の水が必要になります。どんな状況でも消火活動を止めないように、あらかじめ一定量の水を蓄えておくことが重要です。
問9	<b>答え 4</b> 巡回連絡（じゅんかいれんらく）	警察官が地域の一軒一軒の家や会社などを直接たずねて、困っていることがないか聞いたり、犯罪や事故に巻き込まれないためのアドバイスをしたりする活動を「巡回連絡」といいます。
問10	<b>答え 3</b> 拾った人の名前や住所などの手続きをする	拾得物（落とし物）が届けられた場合、警察官は落とし主のもとに正しく戻すよう、届け出た人の情報を記録し、ルールに従って手続きを行います。個人の私的な願いをかなえたり、個人情報勝手に教えたりすることは禁止されています。
問11	<b>答え 1</b> 近所の消防署と協力して活動する	消防署にはそれぞれ担当する地域がありますが、手に負えないほど大きな火災や緊急事態が起きたときには、隣の市町村の消防署とも協力して力を合わせ、人々の安全を守る仕組みになっています。
問12	<b>答え 4</b> 火災報知設備	火災報知設備は、火事の発生をいち早く察知して、音や光で周囲に伝えるための大切な装置です。消火器は火を消すための道具であり、避難はしごや非常口は逃げるためのものなので、役割が異なります。
問13	<b>答え 1</b> 緊急時に逃げ込める避難場所となるため	「こども110番の家」の大きな役割は、困ったときに助けを求められる安全な避難場所を提供することです。登下校の見守り活動と合わせて、地域の大人が協力して子どもたちを犯罪や事故から守るための大切な仕組みです。
問14	<b>答え 4</b> 消火栓	消火栓は、道路の下を通っている水道管とつながっており、消防隊がホースをつなぐことで効率よく水を確保できるように作られています。地域の火災被害を広げないために、街のいろいろな場所に設置されています。
問15	<b>答え 4</b> 消防士が来るのを待たずに使う	初期消火は、火がまだ小さく、自分の力で消せそうな段階で行うものです。火が大きくなってしまった場合は、無理をせずにすぐに避難することが大切です。消火器は万が一に備えて、学校や家など身近な場所に備えておく必要があります。
問16	<b>答え 4</b> 119番	火事や救急の際に消防署や救急車を呼ぶための番号は119番です。110番は警察につながる番号なので、間違えないようにしましょう。
問17	<b>答え 1</b> 誰でも簡単に、急いで警察や消防署に助けを求めるため	緊急の出来事は一刻を争うため、迷わずにすぐ連絡できるよう、特別な番号が決められています。これらは市民の命や大切な財産を守るための、非常に重要な仕組みです。